

結婚して娘二人を授かり、下の子が6ヶ月の時、主人の転勤で仙台を離れ、松戸、松江、広島、横浜と移り住み、昨年8月定年退職。10月仙台に転居して来ました。仙台には今年89歳になる母が居り、娘達の手が離れたここ18～9年位は年に1～2度帰仙しました。駅から母の所へ直行、車窓から仙台の移り変わりを垣間見る位で、ゆっくり歩く事もなく過ぎてしまい、只今、久々の仙台暮らしをしております。

数年前、横浜へ帰る新幹線の車窓から、がんセンターの建物に気付き、どの辺かしら？と思ったものです。今、電車とバスを乗り継いで週に一度ですが、がんセンターボランティアに参加させて頂いているのも、何かのご縁でしょうか。また、陸前落合で、おもに福島から来ている猫達（犬、馬、アルパカ（？）もいます）のお世話をさせて頂いています。

休日はウォーキングクラブに入会し、仙台郊外を歩き、学生時代の友人達と時々そして、たまに温泉。



教えて！「ひだまり」さん よく聞かれる質問とお答えを掲載いたします。

Q1 がんセンターでボランティアをしたいのですがいつ募集をしていますか？

A1 例年9月頃に宮城県広報誌・名取市広報誌・岩沼市広報誌に募集記事を載せております。ただし、守秘義務を守れる方・喪失体験から1年以上の方など、いくつかの募集条件があります。詳しくは、「ひだまり」案内をご覧ください。また、ボランティア希望の方は面接を受けていただけます。

Q2 本や雑誌を寄付したいのですが、どうすればいいですか？

A2 がんセンターまでお持ちになって下さい。冊数が少ない時は、各診療科・案内に置いてある返却カゴに入れて下さい。冊数が多い時は、受け取りに伺いますのでボランティア室に連絡をお願いします。但し、患者さんが読まれる本や雑誌なので、汚れの多いものは除かせていただいています。



Q3 ボランティア「ひだまり」が作っている帽子は、どこで購入できますか？

A3 1階のコンビニエンスで扱っています。または、火曜日 13:00～15:00 に1階の支援センター向かい側のボランティア活動掲示コーナーで試着販売をしています。それから、2階 エレベーター隣のボランティア室にたくさんあります。鏡も置いていますので試着をしながら、お選び下さい。

Q4 1階エレベーター前で写真などのギャラリー展を開催してみたいのですが、どうすればいいですか？

A4 ボランティア室にご連絡して下さい。ボランティアリーダー前田・阿部が対応し、ご説明いたします。今年度はあまり予約が入っておりませ

編集後記

紫陽花の似合う季節になりました。雨にうたれる庭の花を眺めてはその美しさにうっとりします。梅雨の鬱陶しさも吹きとんでしまいますね。今回は、皆様の質問コーナーを掲載いたしました。どんな些細なことでも、どうぞお聞かせ下さい。

編集委員

阿部悦子 氏家洋子 加藤洋子 斉藤美智子
佐々木サチ 前田利子

これからのロビーコンサート ご案内

- 7月 No.4 樹の音コンサート
稲垣達也・白旗一哉・安斎道子
川村忠志
- 8月 ハワイアンバンド&フラダンス
モアナハワイアンズ&フレファ(大人)
リコレファ(子供フラグループ)
- 9月 オカリナ演奏 瓜生満美



特集 平成24年度活動のまとめ

「今はもうかかせないボランティアさん」

看護部副部長 吉田 藤子

新緑のまばゆいこの季節は一年のうちで最も過ごしやすい時期ではないでしょうか。私が一番好きな季節でもあります。

樹々はどんなに厳しい冬を過ごしても春には新芽を出し、どんなに強い風に揺られながらも自分の存在を今年も「ここに居ますよ！！」と言わんばかりに表現しているようにもみえます。その樹の薄緑色から濃い緑になっていく様子を眺めるのも大好きで癒されるのです。

約10年ぶりにがんセンター異動となり、玄関からみる院内の様子はかつてとはちょっと雰囲気が違っていました。変わっていないのがボランティアの方々存在だと感じています。いや、むしろボランティアの方々の活動と細やかな気配りは、手作りのオブジェ・ミニフラワーアレンジメント・プランターや鉢物・図書・写真展等々でいたる所にあっただけです。

病院という医療施設としての機能はありますが、当センターのように、ここに来てホッとするような雰囲気や場所があっても良いのではないのでしょうか。冒頭に述べたことは、この『ホッ』とする時間がすべての方になくしてはならないかかせないものだと思っています。

この『ホッ』とするような何気ないことが「心の癒し」になるので、この活動にご尽力して下さっている方々にこころから感謝い

病院ボランティア「ひだまり」は、平成12年から活動を開始し患者さんに安心して治療を受けていただけるよう、日々いろいろな活動をおこなっております。

おもな活動としては、外来ロビーでの診療科案内や車椅子介助があります。また、ソーイング活動として抗がん剤副作用の患者さんのための帽子作りや、喉治療の患者さん使用のネックエプロン作りがあります。平成24年度は、車椅子用カルテ入れも作製いたしました。その他、植物手入れ、花活け、移動図書、ロビーコンサート、ギャラリー展、ティーサービスなど、患者さんが穏やかに過ごせる環境作りにも努めております。

平成24年度のボランティア「ひだまり」の活動内容と実績をご報告いたします。平成24年度活動者数は、過去最高の人数となりました。

平均登録者は、85名。年間活動合計活動者は、1,975名。年間活動合計時間は、6,241時間。1日の活動者は、8名でした。

また、毎日の活動となっている外来案内活動の、年間延べ人数は、438名。本館・緩和ケア病棟での花活け活動

項目	平成23年	平成24年
活動日数(日)	242	245
活動人数(人)	1,644	1,975
活動時間(H)	5,252	6,241
1日平均活動者数	7	8

年間平均活動登録者数	79	85
年間実働活動者数	70	81

活動内容	平成23年	平成24年
病棟移動図書貸出冊数	1,905	1,871
病棟移動図書貸出人数	1,173	1,129
7階図書室貸出冊数	728	2,573
7階図書室貸出人数	456	1,513
単行本寄付冊数	2,914	1,811
雑誌寄付冊数	2,325	1,796
帽子販売枚数	857	1,054
ネックエプロン販売枚数	225	233
手作り袋類販売枚数	141	576
本館絵手紙受講者数	61	54
イベント開催回数	14	15
ギャラリー展開催回数	16	20
緩和ティーサービス利用者	535	454
緩和絵手紙教室受講者数	94	87
緩和朗読・民話の会開催数	28	26
緩和季節の行事手伝い数	5	6



木曜日に活動しているボランティアスタッフ 紹介



花活けや葉作り・帽子仕上げなど、オールマイティーの活動を担当しています。



木曜日の午前中は、主に外来活動を担当し、午後は移動図書・大工仕事などやっています。
(眞壁) (小池)



図書整理や外来などを担当しています。
(鈴木)



木曜日・ソーイング専門ボランティアです。帽子仕上げやエコバックを作っています。
(津國) (山口)



木曜日 12:00～13:00 7階図書室で医学専門図書の貸出を担当しています。



本館絵手紙講習会担当です。絵手紙は楽しいですよ。ぜひ、参加して下さい。
(渡辺) (眞壁)



本館絵手紙講習会

【日時】 毎月第2木曜日 14:30～15:30
【場所】 1階大会議室
【参加費】 100円

絵手紙の材料は、すべて用意してお待ちしています。

金曜日に活動しているボランティアスタッフ 紹介



気配り、心配りをしながら活動をしています。
(渡辺)



外来受付・花活けを担当しています。まだ二年目の二人ですが、頑張りたいと思います。
(橘) (石野)



帽子仕上げをしています。心を込めて縫い上げています。
(相澤)



福島県南相馬市からボランティアに来ています。緩和ケア病棟中庭の掃除や、花壇の手入れなど担当しています。
(高橋)

平成24年度新規ボランティア
オリエンテーション風景



平成24年度新規ボランティア中20名が、今年度も活動いたします。よろしくお願いします。

ボランティアリーダーです



活動者の調整やイベント企画・意見集約などをおこなっています。「ひだまり」活動全般についての、問合せはこちらにお願いします。